

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）

提出区分		実績	整理番号	5	課題区分	C	2025年1月24日			
横断的な課題		人口減少下における持続可能な地域づくり								
地域重点政策		人口減少下における持続可能な地域づくり								
実施機関		木曽地域振興局			担当課	所属	木曽地域振興局 企画振興課			
事業名		木曽の美しい星空を活かした地域づくり事業				電話	0264-25-2212			
						E-mail	kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp			
事業概要等	目的 (目指す姿)	木曽地域で活動している多様な主体(地域づくり団体、公共的団体など)と連携し、協働による地域づくりを推進することにより、地域を活気づけ、盛り立て、活力溢れる木曽地域づくりを進める。また、地域の良さを明確にし、磨き上げることで地域の価値やイメージを高めて、地域が一体となったブランディングへの取組を推進することにより、人口減少下においても持続可能な地域づくりを目指す。								
	現状と課題	1 現状 ・木曽地域は、開田高原に代表される日本でも有数の星が綺麗に見える地域であるが、「長野県は宇宙県」連絡協議会のメンバーであり、木曽町、上松町、王滝村の3町村境にある東京大学木曽観測所などは、郡内でもその存在を知っている人は多くない。 ・開田地域や東京大学木曽観測所でも、星空観察会などのイベント等は行われているものの、星空を観光の目玉としてアピールしている他地域と比べると、観光利用などの地域振興になかなか結び付いていないのが現状である。 2 課題 ・普段は意識せずに見過ごしている美しい星空が、木曽の宝の1つであることを認識してもらい、また、世界で3台しかない「1.05mシュミット望遠鏡」がある東京大学唯一の国内天文台が木曽にあることを誇りに思い、郡内だけでなく、県内にも広くアピールすることで、観光だけに留まらず、初等中等教育、生涯学習、産業界への寄与等「木曽の美しい星空」を木曽ブランドの1つとし、活力溢れる木曽地域づくりを進めることが必要である。								
	内容 (変更後の内容)	「宇宙に一番近い県」である長野県の美しい星空にふれ、「長野県は宇宙県」を再認識し、宇宙について学ぶ機会を拡大するため、さらに今年度は、東京大学木曽観測所の開所から50周年を迎える節目の年であることに合わせ、東京大学木曽観測所と協働し、以下の事業を開催する。 【木曽観測所50周年記念全県同時期天体観望会(仮称)の開催】 ・2024年10月～11月にかけ「紫金山-アトラス彗星」が大彗星になると予想されていること及び、この時期は金星、木星、土星などの惑星の観望好機となることから、木曽観測所を中心に、全県の天文台やプラネタリウム施設、天文同好会等で開催される天体観望会をつなぐ、全県同時期天体観望会を開催する。 ・この期間内に、木曽観測所をはじめ、長野市博物館、野辺山宇宙観測所、八ヶ岳総合博物館などで実施する天体観望会において、「木曽観測所50周年記念」というタイトルを付加して県内の統一的なイベントとして実施し、木曽観測所の紹介してもらうなど全県で木曽観測所50周年を盛り上げていただく。 ・県内各施設の主催者や参加者に、木曽観測所のことや、シュミット望遠鏡、50周年という歴史などを知っていただき、長野県の星空に誇りを持ってもらうことに繋がることを期待する。 ・統一イベントとして広く広報することにより、これまで情報が届かなかった方にも、観望会の存在、木曽観測所についてなど知って参加してもらうことにより、長野県の星空の魅力を広める機会になると考える。 ・特に木曽地域においては、「木曽観測所50周年記念」ということで、各町村の回覧板、広報誌への掲載、教育機関等へのチラシ配付、ケーブルテレビ、町村内放送なども活用して周知する予定。 (チラシ:星空関係団体、教育機関、市町村、県、木曽郡内回覧版等へ配付予定。10,000枚) 〈今後の予定〉 7月～8月……イベント協力団体の募集・各団体ごとの開催日、開催場所等の決定 8月～9月……チラシ作成 9月中……チラシ配付、木曽観測所ホームページを中心に周知 10月～11月……各団体ごとでの開催 12月～1月……参加者の集計、各団体ホームページ等での報告								
	事業期間	令和6年7月 ～ 令和7年1月								
事業費等	(単位:円)									
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考			
	天体観望会		観望会チラシ作成(デザイン委託)		44,000		チラシデザイン委託料一式 @40,000×1.1 (「長野県は宇宙県」キャラクターデザイン者へ委託)			
			観望会チラシ印刷		132,000		@12×10,000枚=120,000×1.1=132,000円			
合計				176,000						
達成状況及び	成果指標				目標値		成果		達成状況	
	木曽観測所における「全県同時期天体観望会」参加者数				50人		24人		○ 達成 ○ 一部達成 ● 未達成	
事業成果	・「木曽観測所50周年記念」という冠を付して、県下各地の施設等で10月5日～12月8日までの約3ヶ月間「全県同時天体観望会」を開催した。 ・長野県下計23の施設に協力いただき、延べ1,000人あまりが参加。各地で「木曽観測所50周年記念」を盛大にPRできた。 ・木曽観測所における「全県同時期天体観望会」では、観測時間には晴れて観望会は実施できたものの、開催日当日の天候が悪く、参加者は24人(大人15名、子ども9名)であった。									
今後の方向性	新たな次の10年のスタートということで、引き続き木曽観測所と連携、協働しながら、観光だけに留まらず、教育分野、産業分野等へも、木曽の美しい星空を活用できるよう検討し、活力溢れる地域づくりを推進していく。									